

プロレタリア通信

No.11
1968
7.2

共産主義者同盟政治局

全国の同志諸君、

われわれが七回大会において提起し、かつ確定された路線を基軸として取組まれた大会以降の諸斗争の実践はすべてわかれわれの路線の正当性を立証した。

七回大会における「現代世界」の階級斗争に積極的にかゝる、われわれの基軸は、「国際主義の旗の下、世界革命を」であり、「自国帝国主義の打倒、民族解放社会主義」として帝国主義者の総路線に討決する実力斗争への全人民的結集をかちとり、「危機の段階」における「階級斗争の形態」の現実過程を登場せしめる積極性において、われわれの实际行动は検証された。

ポンド平価切下げ、フランス階級斗争の革命的昇場に示される先進国危機の公然化は帝国主義の死の苦悶の開始を意味している。

これは至済危機に止まらず、荒れ狂つ前進

国際級斗争と結合し始めた先進国プロレタリアートの闘いの前進の中に示されている。

世界の王者として世界の市場に君臨して来たアメリカ帝国主義は国内における抑圧、収奪の強化が労働者の苦痛を増大させ、不満の爆発がプロレタリアートの、散発的ではあれ山猫ストを結発させ、又「偉大な社会」の中で、強化される重労働、非人間的抑圧支配に對し、キンタ所なきあとの非暴力黒人運動指導者アパナシー師を^{先導}取組まれた貧者の行進は、現在のアメリカがその許容し得る限界の極において、武装弾圧の拳に出、一切の幻想を抱く事が出来ないということをアフロアメリカ二〇〇〇万に示した。「長い暑い夏」の到来をきたすとして、すでに「心臓部」における闘いが始まろうとしている。「アメリカ帝国主義打倒、ベトナムとの連帯、被抑圧者の解放」

をスロトガンとするブラックパワーの方針の貫徹においてのみ、そしてアアー・ホワイトとの結合を日程にのぼせつゝ、下部労働者の斗争集団への結集等、運動の質は后進国革命との結合へと突き進みつゝ、ある。西独においては「非常事態法」が、西独アルジョアジのNATO再編、帝国主義核武装軍隊の強化EEC内の政治的軍事的ヘゲモニーの確立国内強権抑圧の帝国主義的全社会的再として強行された。西独社会学同を中心とし労働者のストライキと呼応したボンにおける六万の反政府街頭デモは持続された戦斗組織の確立へおけて「労学ストライキ委員会」の胎動は開始された。

またイギリス労働党内閣の労働代官に對し反擁、反抗を開始したプロレタリアートは、部厚い労働官僚の壁を突き破り、フランスのプロレタリアートと呼応した斗争を展開しつゝ、来るべきプロレタリア革命の階級形成が進みつゝある。

世界革命派に獲得し、全ヨーロッパの激動に耐える革命指導部の建設を要求しつゝ、進行するだろう。

このフランスの階級斗争の維持の「革命」「反革命」「日和見主義」「屈服派」向の階級的ヘゲモニーの如何が、そしてフランスの階級斗争の影響が、西独の非常事態法粉碎の斗争に、イギリスのウィルソン内閣打倒斗争に、イタリアの政府危機とトリノにおけるイタリアプロレタリアートの階級的決起の開始に引きつがれ拡大し、EEC、全ヨーロッパ規模での連帯の斗いとして昂揚する可能性を強め、突出したベトナムの革命戦争、ゲリラ武装斗争の拡大、政府危機の続発するラテンアメリカ、そして革命的危機の充満するタイ、ビルマ、ラオス、マレーシア、インドネシア、韓国等の后進諸国の連合したベトナム型革命戦争の現実化を国際プロレタリアートが闘い、る鍵を握っている。

かくて、世界資本主義体制の危機を一層促

開始されたヨーロッパの危機、フランス資本主義の破滅はEEC全体を不可避的に危機におとしおかせずにはおかない。

フランスの危機の解決は全世界の革命を要求する。すでにドゴールによって準備された反革命、フアシズム的、危機の乗り切り策は西独の非常事態法を要求し、次期政権を構想するNPD(ネオ・ナチ)との接触を準備しつゝ、オニ次大戦ヴェイシーの官僚の復権、五年アルジェリアコロン反動極右の特赦を通し、新たな国内外の治安と政策構想を確定しつゝある。

従ってフランスのこの斗いの局面が仮りに一時的収束を可能とし、革命的部分の孤立を結集するとして、(予定の至過はフランス総選挙におけるドゴール派の進出によって示されてゐる)斗いは次の段階へ「反帝・反資本主義」の内実をNATO再編粉碎、自国帝国主義打倒の實力斗争へと発展させ、既成左翼—一國革命路線、議会議主義派—共産党から

進ませ、その革命的解体、全世界プロレタリア革命をちって完結する部隊が現実的にのぞまれ野請されてゐる。

后進国人民の斗いと開始された先進国プロレタリアートの斗いの結合をちって吹き上げる世界階級斗争、世界革命の矛頭の波の前に、帝国主義者、世界のマルジョアジは恐怖し、世界的な反革命戦線へ一つのものとして密集しつゝある。

われわれはそれをヨーロッパにおけるNATO再編、帝國主義軍隊の核武装強化確立として見るこゝが出来ること、太平洋圏における七〇年日米安保、後進国軍事反革命政權と結合した帝國主義ブルジョアジの反革命階級同盟、人民抑圧軍事機構の再編強化として理解している。現在の全世界における危機の同時性は後進国革命民族解放社会主義と先進国革命の結合、世界革命の波が、それに恐怖する世界帝國主義ブルジョアジの世界的結合—反革命同盟との決定的対立の段階へと突入

しつゝある。

ベトナム人民の單一的勝利による、ベトナム人民の解放のみがベトナム人民の進むべき道であり、民族解放を闘う後進国人民の侵略帝國主義、民族ヲルシヨアミー反革命軍事政權の打倒への道は社会主義革命へと突き進む道である。

フランスの、ヨーロッパのポロタリアアトはこれを切り開く國際連帯の道と自國帝國主義の打倒と自國政府の侵略と抑圧、反革命の力、NATO再編、帝國主義軍隊の強化を粉碎しめくことである。

アメリカのポロタリアアトとスラックパワに結集するアフロアメリカンの任務は、ベトナム侵略の即時中止、帝國主義軍隊の解体を闘い通して、後進国人民の革命戦争と呼応し、自國帝國主義の打倒と世界革命へと発展させることである。

日韓条約以来対外膨張を急ピツクで進め、アジアでの市場勢力圏形成を政治的支配の展

望のもとで押し進め、いま一層の独自の利害と帝國主義「共同利害」を拡大する対外路線がアメリカ帝國主義のベトナムにおける危機を機に目論まれている。日韓のアジア侵略、反革命の強化は七〇年日米安保であり、この粉碎こそ日本ポロタリアア人民の決定的任務である。

開始された世界の革命的激動の時代、世界革命の第四の波の時代に、日和見主義からの全世界的分離をからとり、世界ポロタリアアトを日和見主義の影響下から解放する作業は急がねばならぬ。

われわれはすでに自明のものとなった戦後の平和運動の段階から自らを区別し、現代世界の階級矛盾の焦点が戦争へむかいつゝ先進國の革命として街頭をせるところの、現代世界の階級斗争を、世界革命の旗の下で、全世界の「反帝、反資本主義」を闘う革命的左翼の結集と連帯の強化をからとり、当面するベトナム革命戦争の勝利をからめく全世界的戦

線の強化、反抗から攻襲への部隊建設を急がねばならない。

六八年八月の「国際会議」は以上の立場に立つて、共通の政策、統一された行動の確定にむけて努力が集中されなければならない。

そしてアジアの労働者人民とアメリカの労働者との固い結合のもとに、否、全世界の固い結合のもとに「10・21国際反戦ストライキ」を、「六九年初佐藤訪米阻止」を再び羽田フシントンで日米共同のストライキと戦行動で闘い、「七〇年日米安保紛争」を全太平洋圏でのストライキ、デモ、武装斗争、集会をラテンアメリカ、アメリカ、東南アジア等々で闘いとする為に取り組まねばならない。

かかる方向で取組まれる時、現代世界の危機を世界同時革命の方向をかちとる一大出発点とすることが出来るであらうし、われわれはそうさせねばならない。

以上のわれわれの方向性の提起のもとで、六月二五日、社青同解放、國際主義派、社

労同ML派、社労同の参加を確立して正式に「八月国際反戦会日本実行委員会」を発足させた。「八月国際集会」のスケジュール等は次の通りである。

名称「八月国際反戦会日本実行委員会」
実行委員長 松本礼二
実行委員 中沢 (國際主義派)
鈴木 (ML)
石橋 (解放)
津和 (社労同)

事務局長 前沢
スケジュール

○七月二六日 6PM 日比谷公会堂
「キューバ革命十週年記念集会」
オラス、スニツフ代表講演

(八月集会の性格づけを目的として行われる)

○七月二七日 9PM (七月三一日、明
大学館ホール「国際反戦準備会議」
○八月一日 (二日) 9AM 中大学館大教室

「本会誌」

○八月三日、1PM()中大大講堂

「八・三国際反戦東京集会」

○八月五日以降、外国代国代表を含む地方講演予定

(スケジュールの都合上各地方は早急に実行委まで講演希望を連絡すること) 宣伝

○ポスター、七月二日印刷出来上り、

(実行委の財政上、一枚二十円組紐負担とすること)

○ステッカー、七月二日出来上り、

(一枚五円)

○各地方毎に「地方実行委員会を結成し、街頭、駅頭カンパ、地区集会を行う、

○各地方毎実行委員会構成は組紐に「ただわらず広く戦斗的部分の結集をはかること、

○七月上旬ないし中旬より実行委構成組紐による共同デスクで「八月国際会誌ニュース」を発行する予定

○七月三日頃、「八月国際反戦会誌」アツピールを出す。

討議項目

①現代世界の把握

(アメリカ、ヨーロッパ、アジアの危機の展望) 情勢評価)

②国際共産主義運動) あらたな世界組紐(参加代表の条件により、インター形成への方向性を討議))スターリン主) 批判

③六九年NATO、七〇年安保の位置づけ 后進民族解放斗争と先進国階級斗争の 結合

④共通の政策、行動の統一について、(具体的行動の確定)

その他

外国代表については現在世界三△の組紐に呼びかけを行い。国際部員が六月十六日羽田を出発、ヨーロッパ各組紐、ラテンアメリカ、キューバ、メキシコ、アメリカの各組紐へオルタに立っている。